



浦子内組55周年祝賀会 感謝と今後の発展願う

山車奉納浦子内組55周年記念祝賀会（同実行委員会主催）が12月10日、モウモウ館で開催され、関係者ら約120人が節目を祝いました。

福井孝司実行委員長が「皆さまとのご縁が60年、100年と続いていくよう精進したい。これからもよろしく申し上げます」とあいさつした後、歴代の組長に感謝状と記念品が贈呈されました。

中村正治第4代組長は「記念誌の編さんや祝賀会などを計画していただいた皆さまに感謝いたします」と謝辞を述べました。

浦子内組55周年を記念して乾杯する参加者の皆さん



第30回柔道選手権大会 練習の成果を出し切る

12月3日、町柔道協会（中村哲雄会長）は、社会体育館で第30回葛巻町柔道選手権大会を開催し、町内外から198人の選手が出場しました。

中村会長が「日頃の練習の成果を出し切り、思い出に残る大会にしてほしい」とあいさつ。その後、選手らは手に汗握る熱戦を繰り広げました。

大会の後には、第30回大会を記念して、皇后杯全日本女子柔道選手権東北地区予選2連覇中の菅原歩巴選手を講師に招き柔道教室を開催。選手らは、時間いっぱい熱心に指導を受けていました。

198人の選手たちが熱戦を繰り広げた大会の様子と柔道教室講師の菅原歩巴選手（円内）

地域で支える大切さ 認知症講演会で学ぶ

認知症講演会は12月10日、総合センターで行われ、町内外の約60人が聴講しました。

觸澤義美副町長が「認知症対策へのアドバイスをいただいて、有意義な講演会にしてください」とあいさつ。その後、「認知症の人と家族の会」の小田島幸子さんと「この神経内科・脳神経外科クリニック」の紺野敏昭さんが認知症についての講演やディスカッションを行いました。

参加者らは、対応の仕方や予防法など、認知症についての理解を深めました。



ステージ上で認知症についてのディスカッションをする様子

資源回収の益金で購入 葛中シルバーカー寄贈

12月5日、葛巻中学校（三浦裕明校長・生徒63人）の生徒らが町長室を訪れ、シルバーカー2台を町に寄贈しました。

このシルバーカーは、同校生徒やPTA会員らが8月に瓶やアルミ缶などの資源回収を行い、その収益金で購入されたもの。生徒を代表して、釜口洋尚さん（3年）が「町の方々のために活用してください」とあいさつ。鈴木町長は「皆さんの優しさをもった活動に感謝します。町の施設で大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



寄贈に訪れた葛巻中の生徒の皆さんと鈴木町長ら



五小で地産地消給食会 町産食材の恵みを堪能

町では12月13日、地産地消学校給食会を実施。給食センターに食材費を助成し、町内の全小中学校と高校に、牛肉やしいたけなど町産の恵みを使った給食が提供されました。

五日市小学校（森保茂校長・児童22人）には鈴木町長らが訪問。児童たちは、くずまきワインを煮込んで作ったソースがかかるサーロインステーキなどを味わい、町産食材の味を堪能しました。

久保春汰くん（5年）は「ステーキが一番おいしかった！」と大満足の様子でした。

町産食材をふんだんに使用した給食を会食する鈴木町長と五日市小の児童たち



創作体験教室で説明に耳を傾ける参加者の皆さんと完成したハーバリウム（円内）

クリスマス創作体験教室 自分だけの作品仕上げる

12月9日、森のこだま館でクリスマス創作体験教室が開催され、約30人が参加しました。

仲町生花店の近藤明美さん（新町）が講師を務め「ハーバリウム」と呼ばれる、瓶の中にドライフラワーなどの植物とオイルを入れた飾りを創作。参加者らは好きな形の瓶や花などを選び、思い思いの作品を作り上げました。同教室に参加した藤森千穂ちゃん（7歳、浦子内）は「瓶の中に花を入れるのが難しかったけど、上手にできてよかった」と満足げな表情を見せていました。